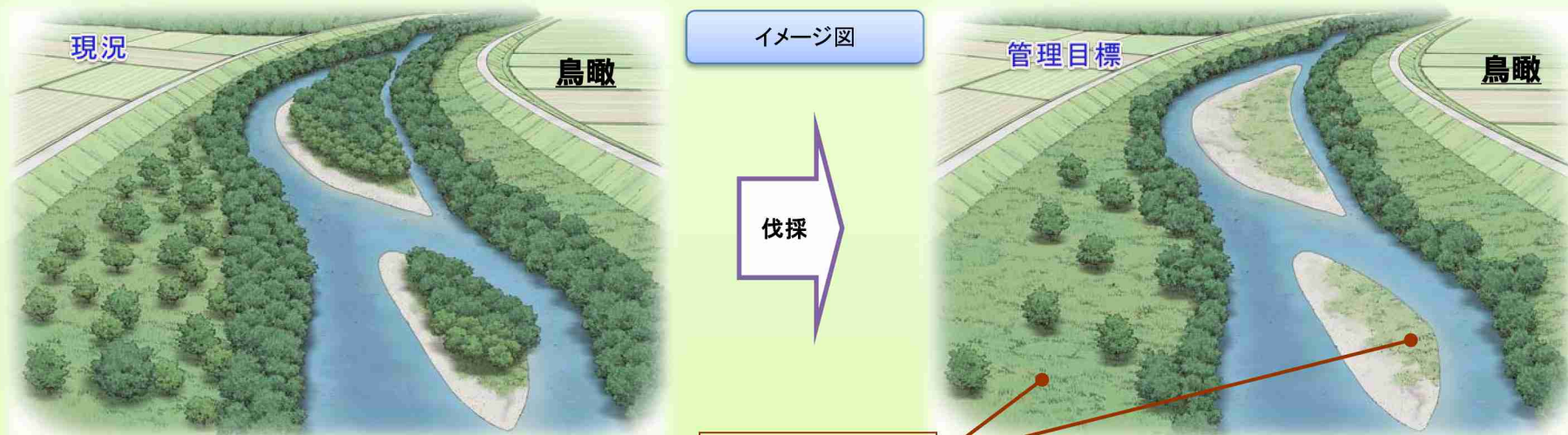


尻別川(名駒から石淵～大谷・栄地区)の樹木管理

尻別川では昭和50年8月に過去最大の流量を記録し、現在、これと同規模の洪水を流せるよう整備しています。しかし、最近ではヤナギなどの樹木が繁茂し、同規模の洪水を安全に流すことができない状況になったことや、ハリエンジュ(ニセアカシア)などの外来種が増加していることなどから環境を保全するためにも、必要最小限の樹木伐採を行うこととしました。



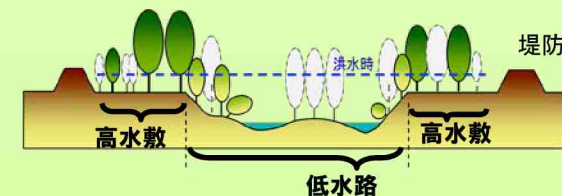
イメージ図

伐採

樹木を伐採した箇所は
草地化を目指します

【具体的な取り組み】

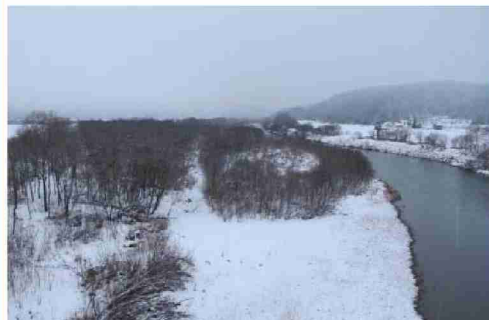
- ・洪水を安全に流すのに支障となる中州の樹木はすべて伐採します
- ・水際に覆い被さっている木は残します
- ・低水路(水辺付近)で高木となった木(主にヤナギ)を伐採します
- ・高水敷のここ数年で樹林化した木(主にヤナギ、ハリエンジュ)を伐採します
- ・鳥の繁殖時期やアユの産卵時期、水際の景観などに配慮しながら進めます



樹木管理の説明会を開催しました

倶知安開発事務所では、尻別川(名駒から石淵～大谷・栄地区)の樹木管理についての説明会を、12月6日に蘭越町役場で開催しました。説明会には地域住民や漁業関係者など10名が参加し、樹木管理の必要性や鳥類・魚類に配慮した伐採の方法などを説明しました。

参加者からは、「洪水が起こらないように川の中の木を伐採してほしい」「洪水から地域を守るためには仕方がないが、魚のためには可能な限り木を残してほしい」など多くの意見が出されました。皆様からの意見を踏まえながら、適切な樹木管理に取り組みます。



↑ 樹木管理の対象区間(栄橋下流)



↑ 蘭越町役場で行われた説明会



↑ 栄橋から対象区間を確認する参加者 ↑



津波から身を守るために 港地区で防災勉強会

11月20日に港地区での津波を想定した防災勉強会が尻別川防災検討委員会の主催で介護予防拠点センターみなどで行われました。

勉強会では津波発生時の避難路の安全点検や、今年行われた避難訓練の状況が報告され、地域の課題や問題点が話し合われました。

→ 避難場所までの距離と方向を示した電柱看板の前で、意見交換



港地区の避難所に指定されている大照寺までの避難ルートを確認←

尻別川新聞では河川での取り組みや工事、イベント、地域の情報など様々な話題を取り上げていきます。

ご不明な点やご意見、尻別川に関する話題がありましたら倶知安開発事務所蘭越分庁舎までご連絡ください。

小樽開発建設部 倶知安開発事務所 蘭越分庁舎
(旧蘭越河川事業所)
0136-57-5331